

平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
 コード番号 4748 URL <http://www.kke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 正太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 湯口 達夫 TEL 03-5342-1142
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 平成30年6月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	7,460	△3.2	94	△52.3	77	△37.9	17	△79.1
29年6月期第3四半期	7,705	4.5	197	△59.0	125	△71.2	81	△75.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	3.75	—
29年6月期第3四半期	18.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
30年6月期第3四半期	12,055		3,584		29.7	
29年6月期	10,482		3,662		34.9	

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 3,584百万円 29年6月期 3,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	10.00	10.00	10.00	30.00	60.00
30年6月期	10.00	10.00	10.00		
30年6月期(予想)				—	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成30年6月期(予想)につきましては、合計で70円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第4四半期の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

3. 平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.2	1,200	21.1	1,140	26.0	761	23.7	183.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	6,106,000株	29年6月期	6,106,000株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	1,522,228株	29年6月期	1,632,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	4,538,694株	29年6月期3Q	4,369,605株

（注）株式給付信託（従業員持株会処分型）、役員株式報酬信託及び役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(セグメント情報等)	8
(持分法損益等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の当社の業績につきましては、売上高は74億60百万円（前年同期は77億5百万円）、営業利益は94百万円（前年同期は1億97百万円）、経常利益は77百万円（前年同期は1億25百万円）、四半期純利益は17百万円（前年同期は81百万円）となり、前年同期と比較して減収減益となりました。一方で、受注残高につきましては、前年同期を下回る58億97百万円（前年同期は61億79百万円）となりましたが、その利益性に関しては、第2四半期累計期間と同様に引き続き改善傾向となっており、当事業年度末に向けた事業活動は堅調に推移しております。

各報告セグメントに関しては、2.（3）四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第3四半期累計期間（自平成29年7月1日至平成30年3月31日）もご参照ください。

当第3四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

【エンジニアリングコンサルティング】

当第3四半期累計期間におきましても、構造設計コンサルティング業務、住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務及び防災・減災のための解析業務が堅調に推移しました。また、当第3四半期累計期間におきましても、前年同期と比較して、大型の不採算プロジェクトが存在しないため、減収となっているにもかかわらず、収益性は改善しております。この結果、エンジニアリングコンサルティング事業における当第3四半期累計期間の売上高は56億円（前年同期は58億80百万円）、セグメント利益（営業利益）は14億1百万円（前年同期は15億51百万円）となりました。また、受注残高につきましては、49億41百万円（前年同期は52億87百万円）となっております。

【プロダクツサービス】

当第3四半期累計期間におきましても、設計者向けCAEソフト、クラウドベースのメール配信サービスなどの販売が好調に推移しました。一方、販売活動の活性化による営業費用の増加等、本セグメントの費用が増加したことに加えて、取扱う多様なプロダクツサービスの販売傾向が前年同期と比較して変化した結果、プロダクツサービス事業における当第3四半期累計期間の売上高は18億59百万円（前年同期は18億25百万円）、セグメント利益（営業利益）は3億38百万円（前年同期は4億83百万円）となりました。また、受注残高につきましては、9億56百万円（前年同期は8億91百万円）となっております。

以上がセグメント別の概況であります。残りの第4四半期におきましても、年度計画の達成に向けて、受注獲得のための営業活動を重点的に行ってまいります。

当社は前事業年度より、四半期配当制度を導入しておりますが、平成30年5月14日開催の取締役会において、平成30年3月31日を基準日とした当第3四半期末配当金を、1株当たり10円とすることを決議いたしました。なお、年間配当金の予想につきましては、1株当たり70円に変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて46.1%増加し、46億42百万円となりました。これは、主に現金及び預金が5億74百万円、受取手形及び売掛金が4億8百万円、仕掛品が4億83百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.5%増加し、74億13百万円となりました。これは、主に投資有価証券が68百万円、ソフトウェアが34百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて15.0%増加し、120億55百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて48.5%増加し、55億87百万円となりました。これは、主に短期借入金が21億80百万円増加する一方、未払費用が4億66百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて5.7%減少し、28億82百万円となりました。これは、主に長期借入金が3億1百万円減少する一方、退職給付引当金が99百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて24.2%増加し、84億70百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて2.1%減少し、35億84百万円となりました。これは、主に機動的な資本政策の遂行、利益の一部を株主に還元すること、及び従業員への福利厚生増進等を目的とした自己株式の売買により、自己株式が94百万円減少し、また、利益剰余金が2億22百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	411,227	985,896
受取手形及び売掛金	1,388,180	1,796,213
半製品	29,349	27,876
仕掛品	549,430	1,032,506
前渡金	22,026	24,143
前払費用	483,659	438,072
その他	346,103	389,794
貸倒引当金	△52,885	△52,226
流動資産合計	3,177,091	4,642,277
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,753,578	1,743,212
土地	3,267,401	3,267,401
その他(純額)	135,493	114,713
有形固定資産合計	5,156,473	5,125,327
無形固定資産		
ソフトウェア	306,137	340,170
その他	149,514	126,579
無形固定資産合計	455,651	466,749
投資その他の資産		
投資有価証券	272,199	340,505
その他	1,422,499	1,484,219
貸倒引当金	△1,757	△3,757
投資その他の資産合計	1,692,941	1,820,967
固定資産合計	7,305,067	7,413,044
資産合計	10,482,158	12,055,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,018	304,303
短期借入金	320,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	725,659	456,451
未払金	489,859	564,428
未払費用	636,072	169,458
前受金	748,903	910,051
賞与引当金	—	492,814
役員賞与引当金	—	59,211
受注損失引当金	150	3
その他	593,514	131,120
流動負債合計	3,763,177	5,587,844

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,095,235	793,836
株式報酬引当金	—	25,293
退職給付引当金	1,816,712	1,916,484
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	41,411	51,786
その他	63,023	55,330
固定負債合計	3,056,381	2,882,731
負債合計	6,819,558	8,470,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,279,603	1,335,094
利益剰余金	3,371,213	3,148,433
自己株式	△2,020,748	△1,926,032
株主資本合計	3,640,268	3,567,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,331	17,050
評価・換算差額等合計	22,331	17,050
純資産合計	3,662,600	3,584,746
負債純資産合計	10,482,158	12,055,321

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	7,705,869	7,460,644
売上原価	4,170,053	3,957,256
売上総利益	3,535,815	3,503,388
販売費及び一般管理費	3,338,623	3,409,351
営業利益	197,192	94,037
営業外収益		
受取利息	45	19
有価証券利息	—	1,608
受取配当金	1,498	1,510
為替差益	—	3,285
投資有価証券運用益	—	3,624
その他	2,595	4,479
営業外収益合計	4,140	14,527
営業外費用		
支払利息	25,513	23,491
コミットメントフィー	7,505	7,375
関係会社出資運用損	31,075	0
その他	12,230	15
営業外費用合計	76,325	30,881
経常利益	125,007	77,683
特別損失		
固定資産除却損	—	410
特別損失合計	—	410
税引前四半期純利益	125,007	77,272
法人税、住民税及び事業税	44,004	92,019
法人税等調整額	△511	△31,761
法人税等合計	43,493	60,258
四半期純利益	81,514	17,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

保証債務

銀行からの借入に対し、以下の通り保証を行っております。

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
LOCKSTATE, INC.	—	75,855千円

(注) LOCKSTATE, INC. への保証債務は、スタンドバイL/Cに対する保証であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,880,057	1,825,811	7,705,869	—	7,705,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,880,057	1,825,811	7,705,869	—	7,705,869
セグメント利益	1,551,728	483,252	2,034,980	△1,837,788	197,192

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,837,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,600,961	1,859,683	7,460,644	—	7,460,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,600,961	1,859,683	7,460,644	—	7,460,644
セグメント利益	1,401,091	338,927	1,740,018	△1,645,981	94,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,645,981千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	364,071千円	364,071千円
持分法を適用した場合の投資の金額	344,621千円	291,519千円
	前第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△25,368千円	△53,101千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,168,307	93.5
プロダクツサービス	1,272,170	111.3
合計	4,440,478	98.0

(注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	6,314,559	90.8	4,941,516	93.5
プロダクツサービス	1,822,378	104.2	956,104	107.2
合計	8,136,938	93.5	5,897,620	95.4

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	5,600,961	95.3
プロダクツサービス	1,859,683	101.9
合計	7,460,644	96.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。